

大雨が降った時に 生じる災害リスク

河川氾濫による浸水

河川の水位が上昇し、堤防から水があふれたり、堤防が崩れたりすると、家屋、道路、農地などまちが水につかれます。大雨の規模によっては、住宅の2階以上が水につかる箇所も出てきます。



家屋倒壊等氾濫想定区域

大規模な洪水が発生した場合、家屋が倒壊もしくは流失する危険がある区域です。水平避難が必要であり、垂直避難を避けるべき区域です。家屋が倒壊する原因は、堤防が決壊した場合に発生する激しい氾濫流や河川の流れによって護岸や堤防と共に侵食される河岸侵食などを想定しています。



内水氾濫による浸水

水路やマンホールから水があふれたり、低い土地では水が溜まったままになります。通常、まちに降った雨は、水路や側溝などを通して河川に排水されますが、大雨が降ると、河川水位が上がり、水路から河川に排水されにくくなります。河川の水位が下がらないと、浸水が長時間続く箇所も出てきます。

ため池の決壊

ため池は、利水目的（農業等に使用）以外に、大雨の時に水を一時